

## 岩国総合技術センターの開所について

本年4月1日、創業71年目を迎える当社は、今後のカーボンニュートラル時代を見据え、技術力&競争力強化の拠点となる「岩国総合技術センター（センター長：中川直樹）を開所いたします。

本日（3月19日）、開所に先立って岩国市福田市長さま他をお招きし、当センターの開所式を開催しましたのでお知らせします。

当社は、成長しつづける100年企業となるべく、新技術の開発から設計・建設・メンテナンスまでを一貫して実施する総合エンジニアリング企業を目指しています。

また、当センターの設置にあたっては、岩国市と進出協定を締結しており（2022年8月4日お知らせ済み）、業務の推進を通じて地域の振興と経済の活性化にも貢献してまいります。

### 1. 概 要

中国電力株式会社岩国発電所跡地の一部（約13千m<sup>2</sup>）を借用し、新しい溶接技術習得や社員研修場として「研修・管理棟」、配管溶接や機器製作および高圧モータ等の点検場として「工場棟」、工事用資機材の保管場として「倉庫棟」の3棟を設置しました。このうち管理棟部分は、建物で消費する一次エネルギー収支をゼロとする完全エネルギーゼロ施設（ZEB）とし、環境にやさしい施設となっています。

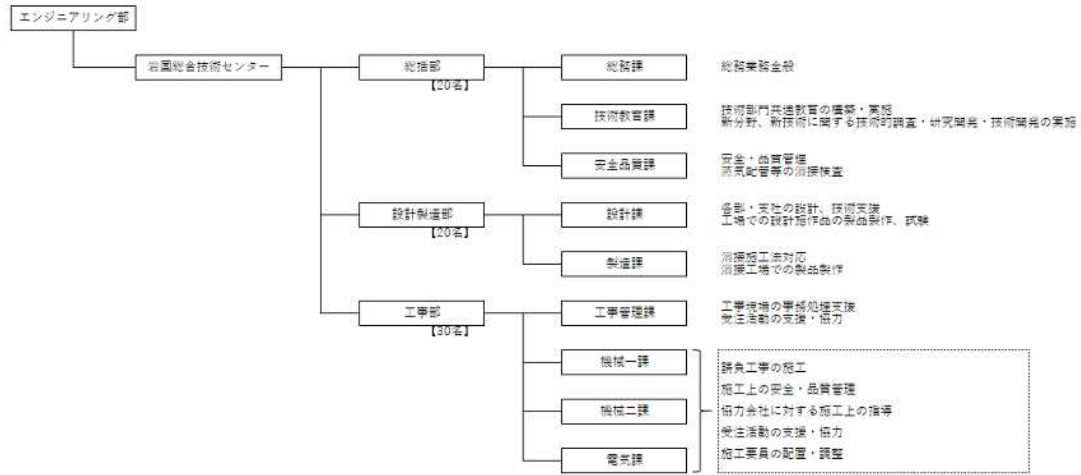


床面積・用途

名 称	床面積 (m <sup>2</sup> )	用 途
研修・管理棟	1,546	社員研修、基本設計・技術開発業務
工場棟	1,139	配管溶接、機器製作、大型機器点検
倉庫棟	952	工事用資機材・研修用機材保管

## 2. 体制

新たに本社（広島市）の技術部・火力部・建設部から要員 70 名（内訳：総括部 20 名、設計製造部 20 名、工事部 30 名）を同センターに配属し、エンジニアリング部の下部組織として指揮・命令系統を一元化するとともに、各部門を統合することにより一層高い機動力を発揮して市場拡大ができるよう取り組んでいきます。



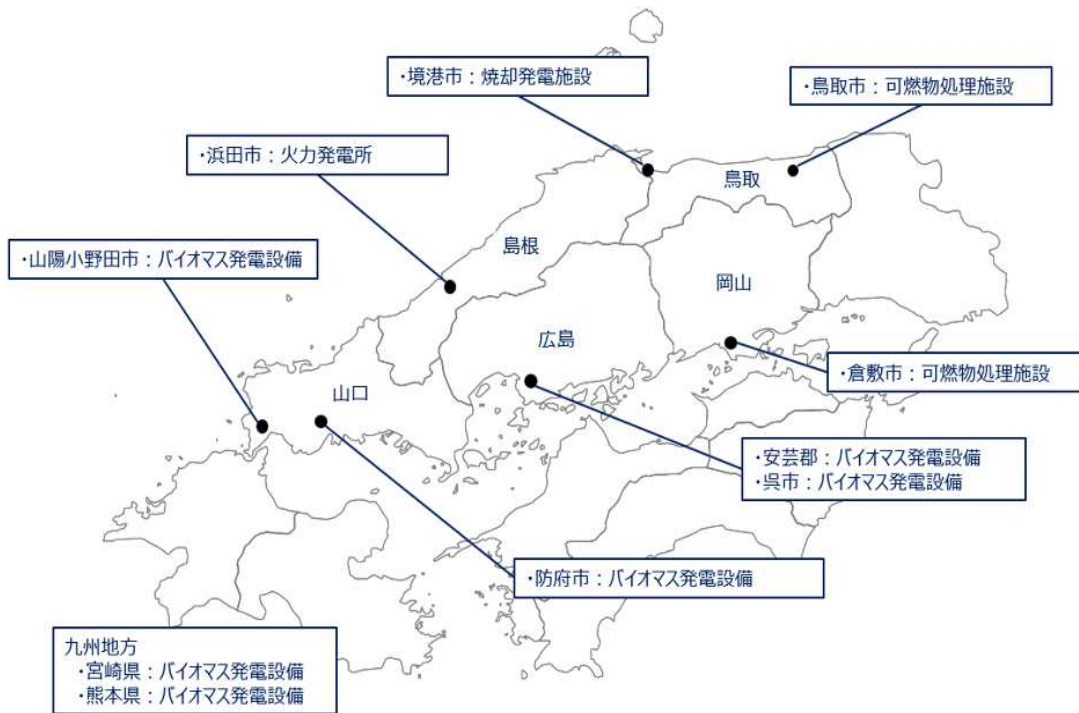
## 3. 技術力強化

「研修・管理棟」では社員技術力強化のため、技術基礎教育、技術管理者教育、施工管理者教育、専門技術・技能者教育を開催するとともに、過去の災害を風化させることなく協力会社も含めた安全第一の体制で業務に取り組めるように「安全最優先」の意識を定着させる研修を行います。

また、「工場棟」では脱炭素社会の実現に向けてアンモニアや水素の配管がますます需要が伸びることが見込まれていることから、高圧ガス保安法に基づく溶接施工法の大員認証取得を目指すとともに、配管溶接認定工場のみにとどまらず当社初となる自社工場での機器の組立・製造を実施することも視野に入れていきます。

## 【別紙】

### 1. 当社の主な建設工事実績（建設中を含む）



※上記は、元請・下請の建設工事のうち当社が携わったものを記載しています。

### 2. 当社 EPC による納入設備

#### (1) 木質バイオマス再造粒設備

木質バイオマス再造粒設備とは？

木質ペレットを直接燃焼させて発電する施設において、木質ペレットを受入れ、貯蔵、搬送する際に、木質ペレットが粉化して飛散したものを回収、再造粒してペレットに成形する設備です。



(木質バイオマス再造粒設備)

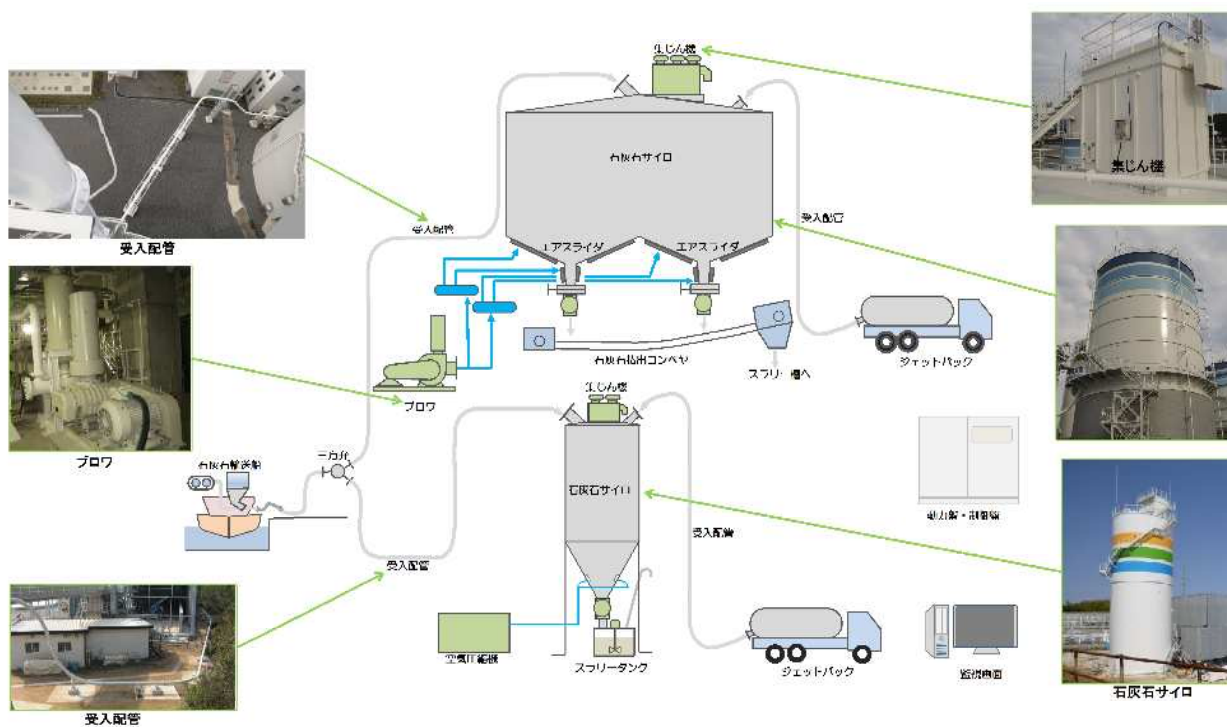
(2) 当社が設計した太陽光発電所

- ①吉名太陽光発電所（容量：0.94MW、実績発電量：1,174MWh／年）
- ②厚狭太陽光発電所（容量：0.75MW、実績発電量：982MWh／年）
- ③江津太陽光発電所（容量：1.35MW、実績発電量：1,691MWh／年）

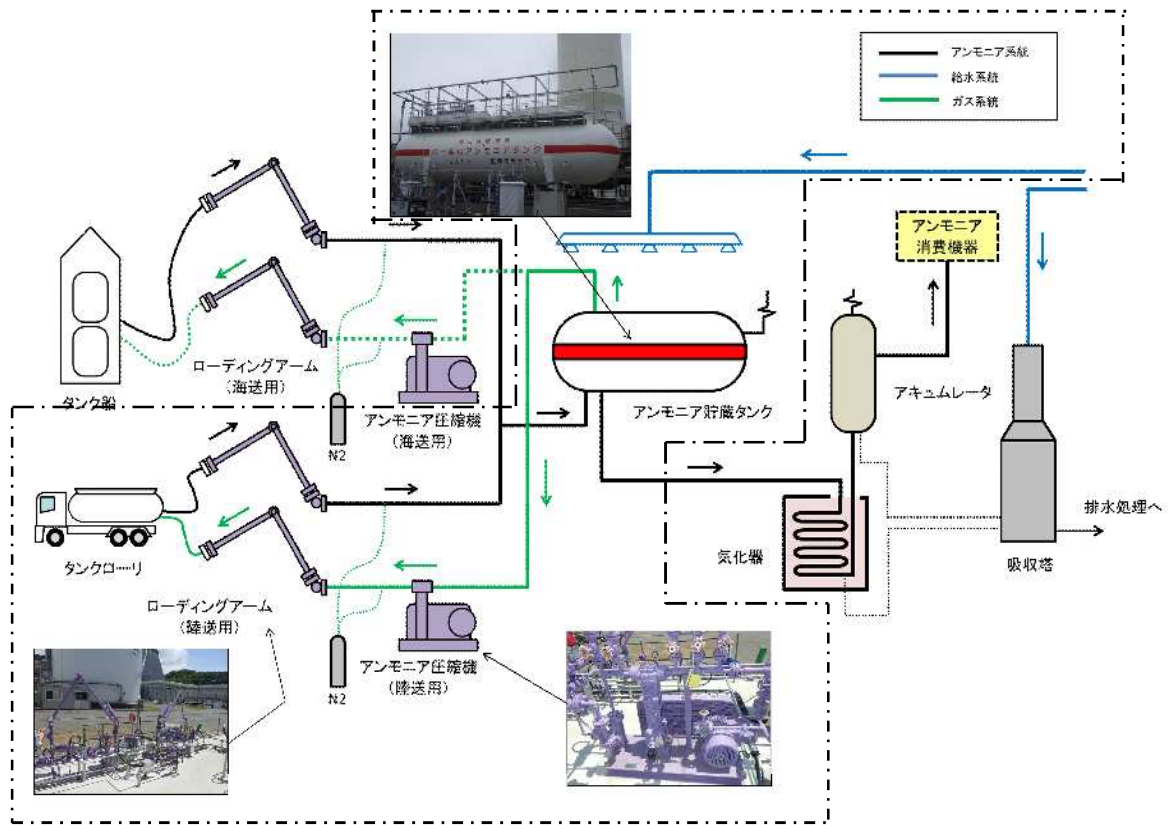


(吉名太陽光発電所)

(3) その他納入設備



(石灰石受入・貯蔵設備)



(アンモニア受入・貯蔵設備 (鎖線内納入範囲))

※その他、遠隔操作・監視装置も基本設計から現地据付・試運転を行い納入しています。

以上